



## 心のきずなを深める月間

今日から6月です。県教育委員会では、6月を「心のきずなを深める月間～いじめを許さない学校・学級を目指して～」と定め、いじめの未然防止等に重点を置いた取組を推奨しています。本校では、7月10日（金）までを月間とし、教育相談、人権学習、標語募集、人権委員会による「ふわふわ言葉でみんな仲よく」の取組、人権集会などいろいろな取組を通して、いじめや人権について考える時間を設けます。また、既にご案内のとおり6月26日（金）には、授業参観で道徳の授業を見ていただきます。さて、なぜ6月に「心のきずなを深める月間」が設けられているのでしょうか。実は、この6月は、年度始めからの緊張や環境の変化等から不安や不調の訴え、人間関係の悩みやトラブルが発生しやすいことが統計上明らかになっています。学校でも担任等がアンテナを高くして子どもたちの変化に気付くよう努めていますが、心の中まではなかなか見えないものです。そこで、県教育委員会で作成された「子どものサイン発見チェックリスト」を参考として添付します。なお、これは、あくまで参考ですので、学校に提出いただく必要はありません。お子様の様子を観察し、気になるようでしたら遠慮なくご相談をお願いします。（6/26の授業参観後には、希望者による学級担任との教育相談も設けています）

## 校歌から学ぶシリーズ①

今回から、3回にわたって校歌の歌詞に出てくる地名などについて紹介します。第1回は「しろ山」です。

校歌の1番の歌詞にある「城山」。学校のすぐそばにあり、御船の町並みを見下ろすことができます。春には桜が咲きとてもきれいなところですね。さて、御船小学校周辺は、戦国時代、甲斐宗運（そうん）が長く治めていました。甲斐宗運は負けず知らずの武将で、戦わずして相手を負かす知将と言われたそうです。その甲斐宗運を祭っているのが「城山」です。同じく、東禅寺、若宮神社も甲斐宗運と縁が深いようです。宗運は、はてなく青い空の雲の先にどんな世界を想像したのでしょうか、考えてみるもの面白いですね。なお、宗運の息子の宗立（むねたつ）は、戦いの際に手足を負傷し、現在の嘉島町に逃れてきました。その際、地域の人から手厚い看病を受けたと言われ、足手荒神に祀（まつ）られてれています。

とぶ とぶ とぶよ あさのくも  
しろ山こえて 町こえて  
はてなく青い 大空へ  
ああ あのくもの 行くてには  
どんなせかいが あるのだろう

